



宮古島市都市交通戦略(案)



令和 6 年 8 月 宮古島市

目 次

第1章 計画概要	1
1 策定の背景と目的	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画の区域	2
4 目標年次	2
第2章 交通戦略の基本的な考え方	3
1 上位計画・関連計画の整理	3
(1) 上位計画	3
(2) 関連計画	8
2 本市の課題整理	11
3 目指すべき将来像	18
第3章 実施施策について	19
1 交通戦略に位置づける具体的な施策	19
2 施策パッケージの設定	20
(1) 将来像ごとの施策パッケージ	20
(2) 重点的に取り組む施策パッケージ	20
3 実施プログラム	23
(1) 幹線道路ネットワークの構築に関する施策	23
(2) 公共交通ネットワークの構築に関する施策	30
(3) 環境負荷低減(エコアイランド)や交通事故が起きにくい交通環境の実現に 関する施策	46
第4章 計画の実現に向けて	53
1 目標指標・目標値の設定	53
2 推進体制	57
3 評価・改善の仕組み	57
参考資料	58
用語集	58
策定体制	63

第1章

計画概要

1

計画概要

1 策定の背景と目的

本市の人口は、これまで減少傾向であったものが、平成 27 年から令和 2 年にかけて大規模リゾート開発や大規模プロジェクトなど好況な観光産業などを背景に、移住者の増加などにより増加に転じています。また、令和 3 年 1 月に開庁した市役所を中心としたまちづくりの形成など本市のまちづくりが大きく変化しています。

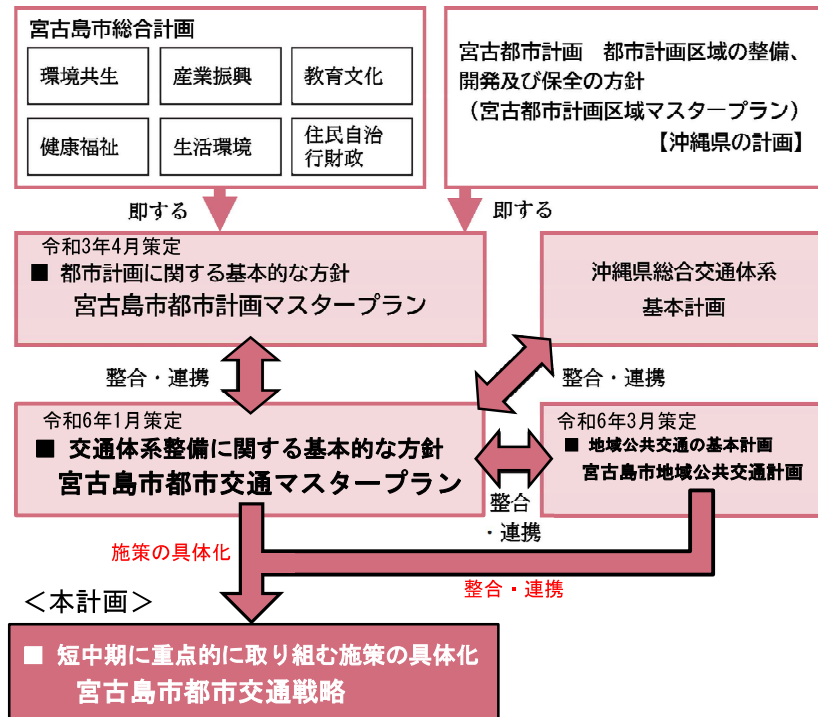
一方、下地島空港への国内線・国際線の就航、「国際旅客船拠点形成港湾（平良港）」の整備などにより国内外からのさらなる入域観光客数の増加が見込まれています。しかしながら、観光客が利用する二次交通は公共交通機関の脆弱さからレンタカー・タクシーが大半となっており、特にクルーズ船寄港中は、非常に大きな交通負荷が主要幹線道路へ集中することから、交通面における観光インフラの整備は喫緊の課題となっています。

また、高齢化率は 27.0%（令和 2 年 10 月 1 日現在）と沖縄県平均（22.6%）より高く、高齢者数は確実に増加しており、高齢社会への対応を図るよう、高齢者が安心して移動できる環境整備なども求められています。

このような中、長期的な展望を見据えつつ、将来のまちづくりを支えるための効率的かつ効果的な幹線道路網や公共交通網の構築など、総合的な都市交通施策を進めるための指針となる「宮古島都市交通マスタープラン」を令和 6 年 1 月に策定しました。

「宮古島市都市交通戦略」は「宮古島市都市交通マスタープラン」で示された短中期に重点的・優先的に取り組むべき施策について実施目標時期や実施主体等の具体化を行うため策定します。

「宮古島市都市交通戦略」は「宮古島市都市交通マスタープラン」を上位計画とし、「宮古島市地域公共交通計画」との整合・連携を図ります。

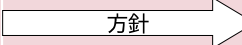
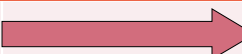
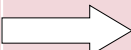


3 計画の区域

計画の対象区域は、宮古島市全域とします。

4 目標年次

「宮古島市都市交通戦略」では「都市交通マスタープラン」のうち短中期（5～10 年）に重点的・優先的に取り組むべき施策の具体化を行うため、計画の目標年次は令和 12 年度とします。

計画名	5年	10年	20年	目標年次・期間
宮古島市都市計画MP (令和3年4月策定)				目標年次: 令和12年度(2030年度)
宮古島市都市交通MP (令和6年1月策定)				
<本計画> 宮古島市都市交通戦略				目標年次: 令和12年度(2030年度)
宮古島市地域公共交通計画 (令和6年3月策定)				計画期間: 令和6年度～令和10年度